

分野： (2) COPDに関する調査研究
① COPD患者の自己管理と重症化予防

(2)-①

申請課題名： COPD身体活動性関与因子の詳細分析と目標値設定に基づく自己管理法の構築

調査研究代表者氏名：南方良章

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(1) 環境保健対策の推進への貢献度	3人	3人	0人	0人	0人	4.50
(2) 研究成果目標の達成度	1人	3人	2人	0人	0人	3.83
(3) 研究計画の妥当性	2人	2人	2人	0人	0人	4.00
(4) 研究内容の独自性	2人	3人	1人	0人	0人	4.17
(5) 社会・経済に対する貢献度	1人	3人	2人	0人	0人	3.83
個別評価(第3評価):(1)(2)(4)(5)の平均						4.08
(6) 総合評価(第2評価)	2人	4人	0人	0人	0人	4.33
全体評価(第1評価):(1)~(6)の平均						4.11

2 記述評価

- ・データはよく作られている。
- ・全国的にこの研究の成果を展開していく具体的戦略が抽かれていない。
- ・発表会でも指摘があったように、症例数を増やす工夫をして、世界に通用する客観的なデータにすることが望まれる。
- ・COPDの自己管理法の構築である(身体活動性関与因子の分析と目標値設定による。)。歩数予測式、身体活動性予測式、目標値設定アプリ、患者自己管理アプリが作成できた。妥当性検証を。
- ・SARS-Cov-2感染症蔓延という現況において、COPD患者の身体活動性評価は社会的にも重要性が増している。本研究は、その社会的要請に応える成果を提示している。
- ・本事業の目的に沿った成果が得られていると評価する。
- ・さらに症例数を増やしてエビデンスが確立されることを期待する。